

日時：2018年12月15日（土）15：00～

場所：東洋大学 白山キャンパス2号館 3階 第1会議室

出席：渡邊芳之理事長、松田英子副理事長、小塩真司、尾見康博、加藤 司、向田久美子、  
森津太子、中村 真

欠席：北村英哉（審議事項を理事長に委任）

## 日本パーソナリティ心理学会第130回常任理事会

### 報告事項

#### I 理事長挨拶

#### II 各種委員会報告

##### 1 機関誌編集委員会（加藤委員長）

###### (1)機関誌の基本的状況の確認

年間3巻体制（7月、11月、3月出版）を維持していること、各巻100頁±20頁程度で発行されているとの報告があった。

###### (2)第27巻第3号の編集状況について

原著6篇、ショート7篇の掲載を予定しているとの報告があった。

###### (3)審査状況

審査状況について以下の表に示した通り、報告があった。

月	採択	審査中	修正中	不採択	取下	投稿数
1	3	19	16	0	1	5
2	5	16	11	3	1	3
3	7	14	13	1	2	7
4	1	16	5	1	4	4
5	5	17	3	3	0	9
6	1	14	10	4	0	6
7	1	16	11	5	0	8
8	3	14	11	4	0	4
9	4	14	9	4	0	9
10	2	13	12	1	1	9
11	1	13	15	4	0	6
12/07	2	-	-	0	0	1

年度	採択	不採択	取り下げ	投稿者数
2012	36	22	5	84
2013	28	16	5	64
2014	24	25	9	72
2015	33	26	3	71
2016	30	30	12	68
2017	29	25	7	81
2018 総会時	23	15	8	42

## 2 広報委員会（松田委員長）

### (1)活動報告

WEB サイトの更新、メールニュースの配信などの活動内容が報告された。

### (2)委員の業務分担について

WEB ページを榎原潤委員、田村紋女委員、西口雄基委員、西川一二委員が、また、メールニュースを齊藤彩委員、澤山郁夫委員、三和秀平委員、孫怡委員が担当しているとの報告があった。

### (3)リニューアル後の WEB サイトの運用およびメールニュースシステムについて

WEB サイトについては、運用業務を委託しているチェロトーン社との間で月末にやり取りをしながら翌月の更新作業を行っている旨の報告があった。また、Gmail 使用者におけるメールニュースの受信障害に関しては、メールニュース配信システム(HDE)のバージョンアップを行ったことで大幅に改善されたとの報告があった。

### (4)YPP2019 について

下司忠大氏（企画代表）、山岡明奈氏、木田千裕氏、ターン友加里ジェシカ氏を実行委員メンバーとして、今後、大会実行委員と調整しながら企画準備を行っていくとの報告があった。

### (5)機関誌の投稿種別変更の周知について

WEB 上での情報伝達は広報に任せること、メールニュースでの情報伝達については、加藤編集委員長にお任せすることを申し合わせた。

### (6)その他

チェロトーン社より、メルアド（会員、委員会等の ML）の管理をどうするのかについて問い合わせがあった。現在は、国際文献が管理しているが、危機管理の観点から、何かあつ

たときに困るのではないかと懸念が示された。メルアドは松田委員長からチェロトーン側に再度懸念している点を確認してもらい、ドメインの管理は渡邊理事長にする方向で、また、さくらインターネットへの支払いはどの程度になるか確認することを申し合わせた。

### 3 学会賞選考委員会（北村委員長が欠席のため、中村事務局長が代理報告した）

学会賞選考の審査過程が示され、これを確認したうえで、以下の点について審議を行った。

#### (1) 選考委員の任期について

常任理事会としては、委員の任期は、委員長と同じくこれまでを踏襲して3年としてよいのではないかとの見解だが、問題があれば委員長からご提案いただき、次回常任理事会において審議・決定する旨を申し合わせた。

#### (2) 委員の経歴の公開について

任期が終了した時点で学会賞選考委員であったことを公開することとする。

#### (3) 機関誌の投稿種別変更に伴う学会賞の多様化について

当面は、現状の学会賞（原著）、奨励賞（ショートレポート）を踏襲し、必要があれば検討する。

#### (4) 委員同士の匿名性の可否について

委員長に一任することを申し合わせた。

### 4. 学会活性化委員会（森常任理事）

別紙に基づき第27回大会における大会発表賞の審査過程ならびに改善案が示された。

## III 日本心理学諸学会連合（渡邊理事長）

今回は報告事項なし。

## IV 第28回大会開催校、日程、準備状況について（渡邊理事長）

2019年8月28日（水）～29日（木）に武蔵野美術大学において荒川歩大会準備委員長のもとで開催されるとの報告があった。併せて、別紙の荒川委員長からの提案（問い合わせ）について検討し、大会企画および運営方法は基本的に開催校にお任せすること、そのうえで、常任理事会としての意向、懸念点を渡邊理事長から荒川委員長に伝えることを申し合わせた。非会員のYPP参加者に懇親会参加を認めたいとの提案については、大会参加費を支払ってもらったうえでの懇親会参加を認めてはどうかとの意見があった。

なお、渡邊理事長より、第30回大会（2021）は、帯広畜産大学において開催したいとの構想が示された。第29回大会（2020）の開催校が未定であるので、今後、検討することを申し合わせた。

### 審議事項

- I 常任理事会における当面の業務分担および新年度からの各種委員会の再編案について  
渡邊理事長より現行の運営体制ならびに当面の業務分担が示され、全員でこれを確認し

た。併せて、以下の通り、来年度からの再編の基本方針が示され、次回常任理事会において最終決定することを申し合わせた。

【各種委員会再編の基本方針（渡邊理事長）】

- ・機関誌編集委員会（継続）
- ・経常的研究交流委員会（経常的研究交流委員会と国際交流委員会を合併）
- ・広報委員会（広報委員会と学会活性化委員会を合併）
- ・学会賞選考委員会（継続）
- ・総務担当常任理事を新設し、常任理事会・理事会の準備運営、議事録作成などを担当する  
※各委員会には委員長（常任理事）を置くとともに、業務に応じてそれを担当する常任理事を置くことができることとする。  
※新体制は、2019年4月から開始する。

## II 財務関連事項（尾見財務担当常任理事）

尾見財務担当常任理事より、2019年度の予算申請について依頼があった。

## III 会員の入退会に関する件

事務局より別紙の通り、新入会希望者14名（うち10名はML審議にて承認済み）、退会希望者4名の一覧が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告があった。

以上の承認を受けて、2018年12月11日現在、会員総数は919名である。内訳は、一般会員684名、院生会員221名、学生会員2名、名誉会員9名、賛助会員3名。  
※今回審議対象の新規入会希望者4名は含まれない。

## IV その他

### 1 心理学検定局員について

心理学検定局員の更新については、現任者である鈴木公啓氏に後継候補者を2名ほど挙げてもらったうえで審議することを申し合わせた。

### 2 日本心理学会の声明文への対応について

日心声明文（別紙「心理学研究の朴訥な引用によって差別的言動を正当化する行為に対する日本心理学会の見解について」）について審議を行い、見解の主旨には同意できる内容である（渡邊理事長）。12/15現在、否決に傾いているようであり、日本心理学会の今後の出方を待つか、本学会においても何らかの形で表明すべきでは（小塩常任理事）、原文をそのまま使用して本学会として表明するのはいかがなものか（渡邊理事長）。表明するとしたら、本学会独自の文面が望ましい（渡邊理事長）などの意見交換があった。審議の結果、経常的研究交流委員会のツイッターで公開する案が支持された。作文は小塩先生、添削は渡邊理事長が担当すること、まずは、ツイッターで公式見解を公開し、ウェブページ公開については様子を見ることを申し合わせた。

3 次回常任理事会の日程について  
2019年3月30日に行うことを申し合わせた。